

2011年4月1日～2021年3月31日の間に 当院口腔外科(口腔顎顔面外科部門)でリンパ増殖性疾患に対し 診断・治療を受けた方およびそのご家族の方へ

—「口腔顎顔面領域に発生したリンパ増殖性疾患に関する臨床統計学的検討」へご協力のお願い—

研究機関名 岡山大学病院
研究機関長 前田嘉信
研究機関名 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
研究機関長 伊達勲

研究責任者 岡山大学病院 口腔外科(口腔顎顔面外科部門) 助教 小畑協一

1. 研究の概要

1) 研究の背景および目的

リンパ増殖性疾患は感染症などでリンパ節が腫れ、リンパ球が増加する生理的な反応とは異なり、異常に増殖する疾患です。有名なものには悪性リンパ腫がありますが、近年何らかの理由で免疫力が低下した患者さんにおいて発症する免疫不全関連リンパ増殖性疾患が注目されています。口腔顎顔面領域でも近年注目されている疾患ですが、症例が少なくその病態や特徴が解明されていません。本研究は当院口腔外科・口腔顎顔面外科部門で診断、治療を行った患者様の臨床データを解析することで、口腔顎顔面領域におけるリンパ増殖性疾患の病態や特徴を明らかにすることが目的です。

2) 予想される医学上の貢献及び研究の意義

本研究により、口腔顎顔面領域におけるリンパ増殖性疾患に対し、今まで以上に適切な診断、治療が可能となることが考えられます。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2011年4月1日～2021年3月31日の間に岡山大学病院口腔外科(口腔顎顔面外科部門)においてリンパ増殖性疾患に対し診断、治療を受けられた50名を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認後～2026年12月31日

3) 研究方法

当科でリンパ増殖性疾患と診断され治療を受けられた患者さんの診療録から、年齢や性別、自己免疫疾患や免疫抑制薬の種類といった患者情報や、画像検査情報、血液検査情報、病理組織学的情報を集計します。これらの情報を元に統計学的に解析を行い、総合的に評価を行います。

4) 使用する情報

患者さんの基本情報：年齢、性別、自己免疫疾患や免疫抑制剤の種類、治療方法、経過
画像検査情報：顎骨や周囲組織への病変浸潤、異所性発生の有無評価
血液検査情報：EBV-VCA、EBV-EA、EBNA、sIL2-R、LDH
病理組織学的情報：各種免疫組織化学画像

本研究では上記の情報を利用します。本研究のために新たに検査をお願いすることはありません。また個人情報には削除、匿名化し、プライバシーの保護には細心の注意を払います。

5) 情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後5年間、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科口腔顎顔面外科学分野で保存させていただきます。本情報はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、第三者が閲覧出来ない状態とします。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、ホームページおよび掲示板にポスターを掲示してお知らせします。

6) 研究計画書および個人情報の開示

患者さんのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

また、この研究における個人情報の開示は、患者さんが希望される場合にのみ行います。患者さんの同意により、ご家族等（父母（親権者）、配偶者、成人の子又は兄弟姉妹等、後見人、補佐人）を交えてお知らせすることもできます。内容についておわかりになりにくい点がありましたら、遠慮なく担当者にお尋ねください。

この研究は患者さんのデータを個人情報がわからない形にして、学会や論文、インターネット掲載で発表しますのでご了解ください。この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、患者さんの情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2021年12月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様には不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

岡山大学病院 口腔外科(口腔顎顔面外科部門)

氏名：小畑協一

電話：086-235-6702（平日 9時00分～18時00分）